



MacBook Pro 15" Unibody Early 2011のバッテリーの交換

MacBook Pro 15" Unibody Early 2011のバッテリーの交換

作成者: Walter Galan



はじめに

消耗したバッテリーを交換するにはこのガイドをご利用ください。バッテリーが膨張している場合は、[適切な方法で処理してください](#)。



ツール:

- プラススクリュードライバー(#00) (1)
- スパッジャー (1)
- トライポイントネジ Y0 ドライバー (1)



部品:

- MacBook Pro 15" Unibody (Early 2011 Late 2011 Mid 2012) Replacement Battery (1)

手順 1 — 底ケース



- 底ケースを固定している以下の10本のネジを外します。

- 13.5 (14.1) mm プラスネジ—3本

- 3 mm プラスネジ—7本

- ☑ このネジを外すときには、ネジが少し斜めに装着されていることに注意してください。再インストールの際は、同じように取り付けてください。

手順 2



- 両手を使用して排気口の近くから底ケースを持ち上げて、上部ケースに固定している2本のクリップを外します。
- 底ケースを取り外して脇に置きます。

手順 3 — バッテリーコネクタ

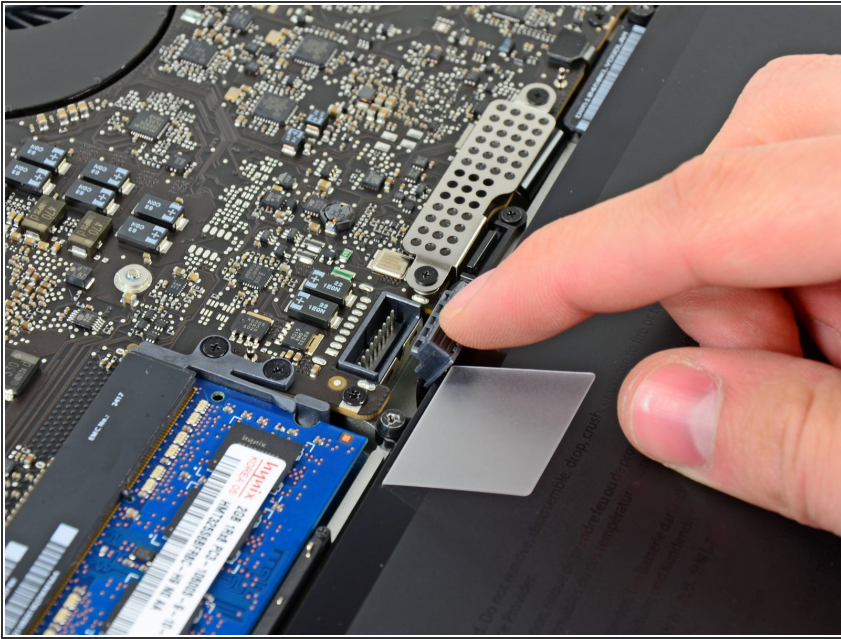


✎ ※特定の修理（ハードディスクドライブなど）の場合はバッテリーを取り外す必要はありませんが、マザーボード上で誤ってショートさせてしまうのを防ぐ事が出来るので推奨されます。バッテリーを外さない場合は、マザーボード上の部品が帯電している可能性があるので注意してください。

- ナイロンスパッジャーの端を使って、バッテリーコネクタをメイン基板上のソケットから持ち上げてください。

i ソケットから接続を外す際、コネクタの縦側の両サイドを上向きに持ち上げると簡単です。

手順 4



- バッテリーケーブルをソケットから離すように少し曲げておき、作業中に誤ってメイン基板に接触しないようにします。

手順 5 — バッテリー



- バッテリー上端の、2本のY1 トライウィングネジを外します。

手順 6



- バッテリー警告ラベルの先端がラウンド状のもの(接着剤が付いていない側)を、バッテリーと光学ドライブの間の上部ケースから慎重に剥がすのと、トライポイントネジが現れます。
- バッテリー上端の、7.4 mm Y1 トライウィングネジを外します。

⚠ バッテリーからラベルを剥がさないようにして下さい。

手順 7



- プラスチックのプルタブを使って、上部ケースからバッテリーを上へスライドさせてずらします。
- ★ この修理ガイドを完成したら、新しく装着したバッテリーの[カリブレーション](#)を行なってください。
- 100%になるまで充電します。充電後も最低2時間はプラグを繋げたままにします。それからプラグを外して、通常通り使用しながら、自然に放電させます。バッテリー残量小のサインが表示されたら、これまでの作業を保存して、スリープ状態になるまで放置してください。スリープ状態に入ったら、少なくとも5時間置きます。それから一気に100%まで充電します。
- 新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook Pro のSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

交換用のパーツとオリジナルのパーツを見比べてください。残りのコンポーネントを移植する必要があるか、パーツを装着する前に接着剤の裏張りを取る必要があります。

デバイスを再組み立てする際は、これらのインストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

新しいバッテリーを装着後、通常通り作動しない場合は、[MacBook ProのSMCをリセット](#)しなければならない可能性があります。

不要になった電子廃棄物は [認証済みリサイクルセンター](#) で処分してください。

修理が上手く進みませんか？トラブルシュートのヘルプには、[アンサーコミュニティ](#) を参照してください。